

50周年記念山行 焼岳－西穂高岳－奥穂高岳－北穂高岳

メンバー：萱野香織 C L、平野直子 S L、澤田淳子、古関敬、鈴木玲子、小原貴子

日程： 7/16（土）、7/17（日）、7/18（祝日/海の日）

7/16 1日目(小原・記)

焼岳登山口(6:15) 焼岳(9:05) 焼岳小屋(10:00) 西穂山荘(13:30)

千葉駅北口を 20 時 30 分出発。現地に近づくにつれ雨がぱらつき始める。屋根のある場所を探し、道の駅めぐみの里に仮眠場所を変更した。

前夜祭をひっそり行い、明日からのハードな 3 日間に備え就寝。

起床後、朝食をとりながら沢渡の駐車場へ、三重から来ている KSK さんと合流し、タクシー 2 台に別れ焼岳登山口へ向かう。

登山口から暫くの樹林帯は前日の雨で道はぬかるむ。

1 時間程進んだところで R ちゃんの靴底が剥がれはじめ、テーピングで応急処置を試みるも、2 日目の西穂～奥穂間を耐え忍ぶには厳しい様子。

運良くまだ登り始めたばかり、一旦下山後、靴を新調し帝国ホテル側から西穂山荘に来てもらう事になった。

間もなく視界が開け山頂付近を覆っていた雲も切れ始め、青空と共に焼岳から吹き上がる噴煙が現れる。雄々しい姿に北アルプスを感じる。

焼岳北峰頂上で横断幕を広げ記念撮影後、焼岳小屋に向かう途中、別働隊で先に出発されていた H さんがいらっしやった。検討を湛え合い先に足を進める。

焼岳小屋には思ったより早く付き、西穂山荘についてもやることないね～と大大大休止。

焼岳小屋からは多少のアップダウンでゆるい稜線歩きと思いきや、何度も訪れる激しいアップダウン。なかなか水平距離が稼げず、右下に見える梓川の景色が進んでも進んでも変わらず。

道は泥沼、滑る笹の切り立った崖道等々、悪路多く休憩場所もなかなか良い場所がない。

仕方なく留まった場所は毒虫だらけ。ここは北アルプス？奥秩父あたりの山道を歩いているのかと錯覚してしまう。

累積標高ではこの 3 日の中で一番多く地味に疲れた。

西穂山荘が見えてきたと同時に、先に到着していた R ちゃんが笑顔で出迎えてくれた。

山荘の生ビールで 1 日目の無事を祝い、核心の 2 日目に備え小屋食をしっかり頂き早めに就寝した。

7/17 2 日目（鈴木・記）

西穂山荘(5:10) 西穂高岳(8:30) ジャンダルム(11:00) 奥穂高岳(13:00) 穂高山荘(13:30)

前日“明日は行くよね” “行くよ！”と皆で気合を入れて休んだが、朝目を覚ますとやはりガスっており弱気になる。準備をして外に出ると意外に暖かい。回復を祈りつつ出発する。

西穂の山頂に行くまでに幾組ものパーティーが降りてくる。天候の回復は見込めないようだ。飛騨側は風が吹いてきて、手袋はもう濡れそぼっている。地図の破線部分をゆっくり確実にの足場を取りながら歩みを進める。はじめのうちは一言三言軽口も出ていたが 9 時を回るところには霧雨が本降りとなりだんだん無口になる。

それぞれメンバー同士お互いの動作を見守りながら滑らぬよう転ばぬよう岩稜を行く。いくつもの難所を超え“これがジャンか” “ジャンはまだか”とジャンダルムを心の支えに黙々と進む。既に気分は**沢登**。レインウェアも浸水、靴の中もぐっしょりとなって来る。手袋なんて何回絞ったか。

確実に歩みを進め念仏のように唱えていたジャンダルムまでたどり着く。しかし、ガスっていて勇壮は拝めない。今日のところは“**沢登**”という事で、軽く巻いておく。

心の支えのジャンを過ぎるともう後は少しでも早く山荘に着きたい。雨はいよいよ大粒になり体も冷えてくる。心が菜えそうだが前後の仲間を気遣いながら一歩前に、一歩前に。薄ぼやけの前方に奥穂の様相が見えたときには“本当に？幻覚じゃないよね”と素直のホッとする事もできない。

奥穂の山頂は風もあり冷たい雨の中。それでも何人かの登山者がおりお互いに写真を取り合い早々に山荘へと向かう。“ホットワインがいいね” “熱燗あるかな”最後の元気を振り絞る。雨は多少みぞれ交じりとなり目を開けているのもつらくなる。

慎重に下っていき、一人ずつ山荘の前にたどり着く。全員が山荘前に降り立つと皆一気に緊張から解放され、お互いに抱き合い無事のミッション達成に自然に涙があふれてくる。

“頑張ったね” “ありがとね” それだけ、それしか言葉も出てこない、体は冷え切ってしまったけど胸が熱く、仲間と一緒に本当に良かったと心も熱くなった一瞬であった。

*今回の西穂～奥穂の行程は、本来なら停滞も考えられる天候でした。処々の都合によりパーテ

ィーとして **GO** としましたが、全員の足並みと天候の具合を見て決して無理をしたとは思いません。緊張はしましたが危ないと思える事ありませんでした。それでも感慨深い山行でしたので後にメンバー全員の感想を加筆したいと思います。

7/18 3日目（小原・記）

穂高岳山荘(4:55) 北穂高岳(7:30) 涸沢(9:50) 上高地 BT(15:50)

前日とは打って変わって好天！

いよいよ最終日、最後まで気を抜かず気を引き締め出発。

岩陰から飛騨側は冷たい風が吹き荒れ、長野側に来るとポカポカ、暖かい寒いを繰り返しながらの岩場歩きが続く。

昨日は全く山容すら分からず、目の前に岩塔が現れるたび「これジャンダルム？」と、何度も何度も偽ジャンダルムを見た。結局どれがジャンダルムだったのか分からない程の天候だった。風を避け岩陰で朝食をとりながら、今日は本物のジャンダルムを遠くに望み、また良い天気の時

に挑もうと心に誓う。
最終日の疲れ＋空気が薄くひどく息が切れる、岩の登り下りが思ったよりあるが、逆に飽きさせず、北穂高岳までは、あっという間だった。

北穂高岳山荘のテラスでしばし休息、後は下るだけと気持ちも緩んだのと標高の影響か、少し目眩を起こすが涸沢まで着くと、全くなかった。

その後は順調に下り徳澤園でお昼ごはんとする。

KSK さんが間違えてお店の方から水をかけられてしまうアクシデントがありびしょ濡れになってしまう。徳澤園の **T** シャツをもらいお色直しを終え満面の笑みで登場。

その前にソフトクリームを食べていたのに、さらにソフトクリームを **GET** し2個目も嬉しそうに食べていた。

最後の最後疲れきっていた所、なんだか和んだ。

あとは平地をただただ進むのみ、足の痛みに耐えながら上高地バスターミナルに到着。

タクシーで他客と相乗りし駐車場まで移動。

上高地帰りの定番、せせらぎの湯で **3** 日分の汚れを綺麗さっぱりし帰路に着いた。

核心日の天候が悪く非常に困難な状況の中、強力メンバーに囲まれ無事フィナーレを迎えることができた。感謝感謝である。

小原 2日目の核心部、西穂～奥穂間、徐々に雨風が強まり、岩肌からは水も流れ落ち、もしかしたら沢靴の方が楽に登れるのではないかと錯覚する程。緊張と寒さに震え過酷だった。強力なメンバーに励まされながら、無事到着できた時はずっと張り詰めていた緊張の糸が切れ安堵感と共に涙が溢れ出た。私の山生の中で忘れることのない山行となった。

古関 核心の日目の西穂～奥穂の通過が悪天候でしたが、皆さんと一緒に大変心強かったです。ソールのトラブルや霧や雨のめがねへの付着による視界不良で、結構苦勞しました。この点は反省点として今後の山行に生かして行きたいですね。 ルート上では雨の中グリップが効かず滑り易く、逆層スラブや馬の背が怖く感じました。どちらも登りのルートでよかったです、逆ルートで降りであればゾッとします。

澤田 二回目めで、人生最後のジャンダルムと挑戦いたしましたが、ジャン様はつれなく、今回も雨。なんと奥穂のあたりでは、目の玉にぶつかる痛いものはアラレ？文字通り感謝感激雨霰の山行でした。合掌。

SL 平野 一日目は、ウォームアップと思いきや、なかなかハードなスタート。虫地獄が核心でした。哀れ Sさんは地獄の餌食に。

二日目、相当悪いコンディションが予想されたが、このメンバーなら行ける！との思いでスタート。お互いが頼り過ぎず、自分の実力を出し切ったからこそ突破できたと思います。自分史に残る感動のゴールでした！

三日目、今日はサクッと北穂によって降りるだけ～♪と思いきや、朝からハードな岩稜歩き。そして上高地への長い道のり。簡単な登山なんてありませんね。だから山は面白い！一緒に行ってくれたメンバーと別働隊になったけど、一人で歩き通した Hさん、みんなお疲れ様&心から感謝です。

CL 萱野 この度、リーダーという大役を仰せつかりました。このような機会を与えて頂き、自分も少しは成長できたのではないかと感じております。決して一人では成しえなかった事です。仲間のととても強力な力添えがあったからこそこのミッション達成でした。特に難関ポイントの西穂から奥穂の間は、一時も気を抜く事はできずに、緊張しっぱなしでした。メンバーが無事に穂高岳山荘へ到着した時には、急に緊張感が解かれ、自然に涙が溢れ出てしまいました。

雨の中、涙を流しながらお互いの無事を確認、抱き合う光景は今でも脳裏に焼き付いています。今、思い出しても目頭が熱くなります。次の日の涸沢岳経由の北穂高岳ルートもあり行く機会の無いルートだと思います。前日とは打って変わっての晴天に恵まれ、素晴らしい景色を堪能しながら歩く事ができました。楽しい岩稜歩きでした。前日頑張ったご褒美だったのかもしれませんが！本当に事故や怪我もなく千葉へ戻って来れた事に感謝です。

今回一緒だったメンバー、やむなく参加を断念したメンバー、どうもありがとうございました。晴れた日にまた行きたいと思いました。



新中の湯登山口を出発！



焼岳のお釜



硫黄臭い



焼岳山頂へ向けて



焼岳山頂！



変化のない風景が続く…



乾杯@西穂山荘



美味しい山小屋ごはん♪



ピラミッドピークにて小休憩



西穂高岳山頂！



滑りそう



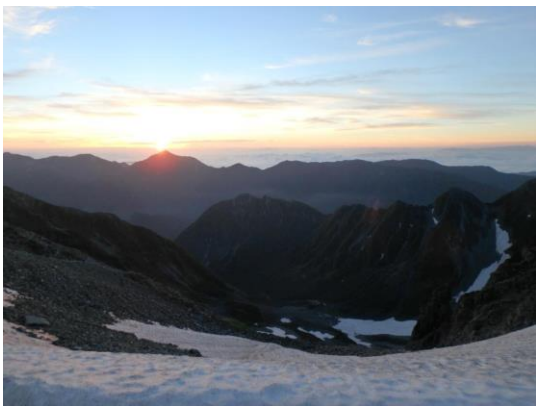
ジャンダルム突然現れる！



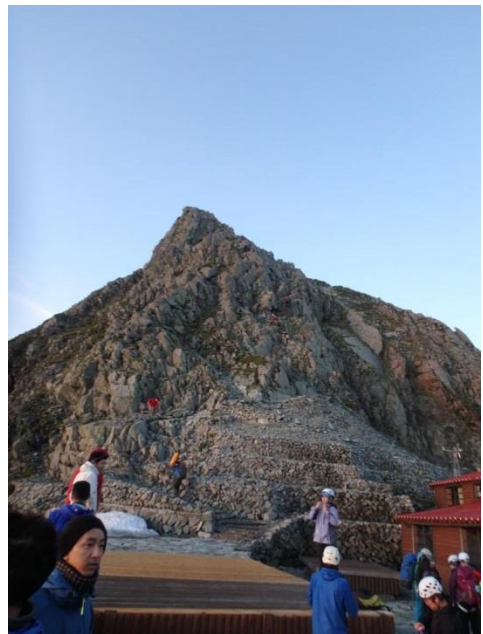
ウマノセ現れる！



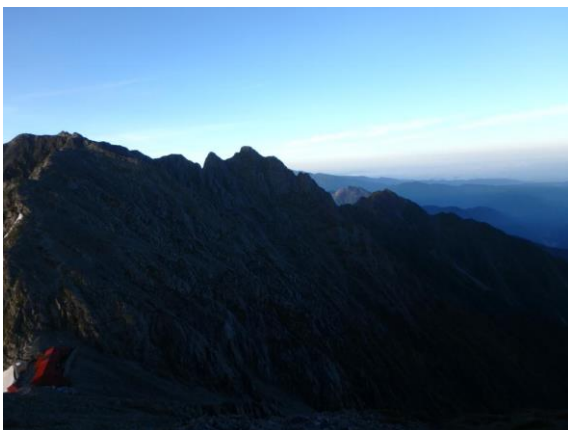
ついに奥穂高岳山頂！



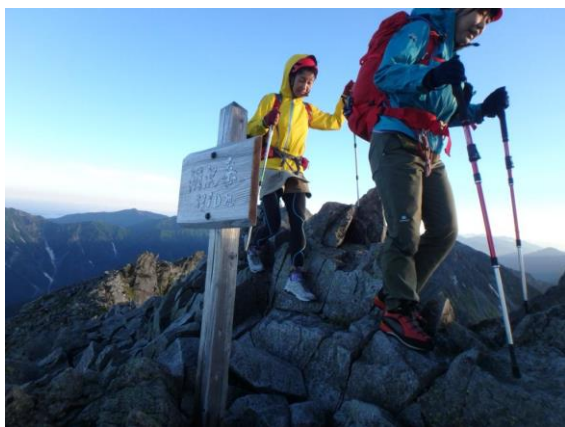
朝の山小屋からの風景



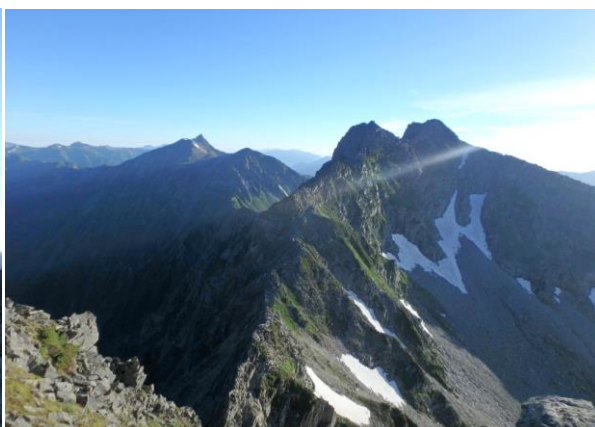
小屋から見た奥穂高岳



昨日歩いてきた稜線



潤沢岳



北穂高岳へ向かって



なかなかの岩場が続く



北穂高岳山頂！ミッションコンプリート！！